



市議会 だより

題字：栗橋幼稚園 おかやす りな さん



令和8年度の
市政運営

会派代表が問う 代表質問

久喜みらいの会

川内 鴻輝 議員

久喜市の未来を切り拓く
重点施策実行プランの全体像

Q 総合振興計画に掲げた施策を着実に進めることが市長の責務であるが、その認識を伺う。

A 計画の推進により人口が目標を上回って推移し、子育て・教育・都市基盤整備などの成果が出ている。まちづくりを次の段階へ進める。

Q 健康・共生・コミュニティ・交流人口の拡大までつながるよう、スポーツ施策をどう体系立てるのか。KPIや連携についても伺う。

A スポーツ実施率などの目標値を定め、運動機会の創出や共生社会の実現に取り組む。施設整備とあわせ、学校・市民団体・民間企業と連携し、地域活性化や交流人口の増加につなげる。

Q 子育て施策を積極的に進める考えは。

A こども誰でも通園制度を令和8年4月から実施する。国の交付金等も踏まえ、小中学校の給食費を完全無償化する。

Q 新ごみ処理施設の今後のスケジュールは。

A 令和8年12月にクリーンセンターの試運転を開始し、令和9年4月に余熱利用施設・本多静六記念公園とあわせてオープンする予定。

Q 駅周辺のまちづくりを進める考えは。

A 久喜駅西口については権利者の会で民間事業者を選定し、施設の規模・配置を具体化して早期に着手する。栗橋駅東口については駅前広場や道路等の基盤整備の実現に向け、測量設計・用地買収・造成工事を順次進める。

Q 防犯カメラの整備や住宅補助の範囲、スケジュールについて伺う。

A 上限1万円で防犯対策用品の購入・設置費用を補助し、令和8年3月16日から申請受付を開始する。市ホームページ、広報、SNS等で周知する。

公明党久喜市議団

岡崎 克巳 議員

第2次久喜市総合振興計画の
将来像の実現を目指して

Q 久喜市の平和都市継続は、国是である非核三原則の堅持が基本。梅田市長の考えを伺う。

A 非核三原則は、1978年国会決議で国是として位置づけられ、以降、日本政府は三原則を順守しており、国の核政策の根幹をなす重要な原則。この原則を守ることが唯一の被爆国である日本の重要な役割。私は、非核三原則は堅持すべきものと考えている。

Q 第2次総合振興計画の将来像、人口推移の評価と、良好な都市環境の整備を図れたのか伺う。

A 子育て家庭への支援やゼロカーボンシティの推進など、総合振興計画の各施策の推進に全力で取り組み、着実に成果が表れていると認識。人口は目標人口を上回って推移している。南栗橋駅や東鷲宮駅周辺は民間事業者と連携したまちづくりや商業施設の誘致、栗橋と鷲宮を結ぶ佐間・八甫線の整備など、住みやすいまちづくりを進めることができた。

Q 総合振興計画の後期基本計画の方針を伺う。

A 後期基本計画は、行政サービス満足度調査により市民ニーズを把握し、その結果を踏まえ、審議会に計画に盛り込む内容や計画案を審議する予定。

Q 税収増となるデータセンター（DC）の誘致に積極的姿勢で取り組むべき。

A 令和6年度からDCの誘致に取り組んできた。国は令和7年8月にGX戦略地域制度を創設した。10月に国との協議に臨み、本市の優位性を顕示する独自の提案を行ってきた。公募期限の令和8年2月13日までにデータセンター集積地形成の計画書を作成し申請ができるよう準備している。私の持てる力を発揮しDCの誘致に取り組む。

1月27日に梅田市長から、市政運営の基本方針・予算の編成・分野別の重点施策が示されました。それを受けて2月8日の休日議会において、それぞれの会派の代表から鋭い質問が出されました。

市民の政治を進める会

川辺 美信 議員



市の財政は市民生活にこそ重点を置き市債は慎重に抑制すべき

Q 高市首相の大義なき解散で予算成立が遅れ、久喜市も一部事業を暫定予算で対応することになる。市長はこの影響をどう見ているのか。

A 国の予算が不透明なため、久喜市も4月以降の執行に注意が必要と認識している。内容次第では、補正予算も必要となる可能性があり、市民生活に影響が出ないように対応していく。

Q 食料品の消費税2年間0%方針や、野党の恒久的減税・廃止が市財政に与える影響をどう見るか。地方消費税交付金が減る場合、国や県に財源措置を求めるべきではないか。

A 消費税は社会保障を支える重要財源であり、減税には慎重な検討が必要と考える。減税・廃止となれば市財政に影響が出るため、国が責任を持って代替財源を確保すべきと考えている。

Q 国の方針変更や遅延があっても、久喜市は4月から小中学校給食費の無償化を確実に実施するのか、市長の決意を伺う。

A 国と県の交付金は交付されると見込んでいる。4月から小学校給食費の差額を公費で負担し、中学校も全額公費負担で無償化を実施する。

Q 予算が過去最大となり、市債も大幅に増加した。いきいき活動センターしずか館など解体費用にまで市債を充てるのは趣旨に反するのではないか。

A 国は解体にも使える地方債制度を認めており、本市も老朽化対策と適正配置のため、この制度を活用して解体費用に充てている。適切な財源措置と考えている。

Q 大学受験料補助の内容と効果、高校受験費用も支援すべきではないか。

A 生活困窮世帯を対象に、大学受験料と高3の模試料に加えて、中3の模試料も補助する。

日本共産党久喜市議団

渡辺 昌代 議員



平和と人権と暮らしを守り消費税の減税を国に求めよ

Q 国民健康保険の値上げはすべきではない。久喜市独自の軽減策を導入すべき。

A 被保険者の軽減策は国において検討し、公費投入すべき。本市独自策は考えていない。

Q 公契約条例の制定をすべき。

A 発注者が労働関係法令に基づき適切に労働条件を設定していると考え。条例制定はしない。

Q 小・中学校の学校給食無償化は市民の強い要望であり、私たちも要求を続けてきた。来年度以降も続けていただきたいかがか。

A 令和9年度以降も完全無償化を継続する。

Q 有機栽培農業を進め、安心なお米を学校給食に取り入れるべき。

A 地域形成が必要など課題もあるが、農業者の意向把握に務め、有機農業の推進に向けた働きかけや支援を行っていく。

Q 保育士不足、処遇改善を「子ども誰でも通園制度導入」よりも先に進めるべきではないか。

A 保育士確保など保育園と連携していく。新制度は4月から実施する。

Q 余熱利用施設に統廃合される福祉センター・温水プールを廃止する事は高齢化社会に逆行する。見直して市民が活動する場を残すべき。

A 老朽化に伴い廃止する。活動支援はする。

Q 久喜市全体の公共施設（学校体育館など）のトイレの改修、洋式化を計画的に進めよ。

A 各施設の状況を踏まえ対応していく。

Q 小学校体育館へのエアコン設置をすすめよ。

A 中学校の検証を行い具体的に検討していく。

その他の質問 ◇循環バス・デマンドバスの増便を◇さくら通りは名所として維持を◇本庁舎増築棟の整備は市民参画で進めるべき

忙しいあなたに贈る！
 ほぼ3分でわかる
 2月定例会議
 ダイジェスト

一般質問 21人が登壇
 市長提出議案34件
 議案質疑：9議案に延べ
 25人
 討論：13議案に延べ24人

1月27日から
 3月3日まで



年間予算(当初予算)を審議

過去最大!

令和8年度一般会計予算 851億3000万円

前年度比 +123億3500万円【+16.9%】

賛成15人 反対7人



主要事業

1 ごみ処理施設の整備

- ごみ処理施設整備推進事業 185億8183万円
- 余熱利用施設及び(仮称)本多静六記念 市民の森・緑の公園
一体整備事業 41億9581万円

2 教育環境の整備

- 義務教育学校運営・維持管理事業 5061万円
- 外壁改修及び屋上防水改修工事、トイレの全面改修等 36億8654万円

3 子育て環境の充実

- 乳児等のための支援給付事業 4384万円

令和7年度一般会計補正予算(10号)主要事業

- 杉戸久喜線整備負担金事業 1231万円
- 久喜市立鷺宮西小中学校にレーザー彫刻機を購入 59万円



令和7年度一般会計補正予算(11号)主要事業

- 鷺宮地域子育て支援センター内空調設備改修工事 418万円
- 栗橋いきいき活動センターしずか館解体において地中から発見された
アスベストの適切な搬出及び処分 6446万円



令和8年度一般会計補正予算(1号)主要事業

- 小中学校給食費無償化のため交付金との差額を公費負担 5億8216万円
- 高齢者応援商品券の発行 9242万円
- 生活保護費追加給付事業(最高裁判決への対応として差額を給付) 1億8681万円



予算以外の主要議案

- 特別職・非常勤職員の報酬及び費用弁償条例の改正
- 介護保険条例の改正
- 放課後児童クラブ条例の改正
- 屋内型こどもの遊び場条例の改正
- 保育所条例の改正
- 国民健康保険税条例の改正



令和7年度 一般会計補正予算(10号)

新規就農者育成総合対策事業 △300万円



Q 300万円の減額の理由は。

A 令和7年度は継続者4名、新規就農予定者1名を見込んでいたが、継続者1名、新規就農予定者1名が減となった。

杉戸久喜線整備負担金事業 1231万8000円

Q 用地取得と移転補償の事業の内容と進捗状況は。

A 物件調査8件、用地買収4件、移転補償などの物件補償を4件見込んでいる。

用地買収の進捗状況は約1.7%である。



県道杉戸久喜線

鷺宮西小中学校にレーザー彫刻機の購入事業 59万1000円

Q 今回の先端機器の導入は鷺宮西小中学校だけなのか。他の学校への整備はどうか。

A 今回の補正予算は、鷺宮西小中学校に設置するレーザー彫刻機の導入分だが、STEAM教育の推進は全市的に進める方針であり、3Dプリンターなどを含む先端機器を各学校にも順次整備する予定。

令和7年度 一般会計補正予算(11号)

栗橋いきいき活動センターしずか館解体工事 6446万円

新たに地中から発見されたアスベストを搬出するための債務負担行為補正

Q アスベスト処分のスケジュールと工事期間中のグラウンドの利用は。

A 4月～5月に地中のアスベストの除去処分を進める。作業範囲外へアスベストの飛散を防止する「レベル1」の対策を講じることから、通常通りグラウンドの利用は可能である。



解体中のしずか館

令和8年度 一般会計補正予算(1号)

小中学校給食費無償化を実施 5億8216万円

Q 県補助金3億6842万円が小学校給食費で、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の2億1374万円が中学校給食費との理解で良いのか。

A 県補助金については小学校、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金については小・中学校共に対象。国・県からの交付金と学校給食費の差額を公費負担するとともに、中学校についても保護者が負担している学校給食費をすべて公費で負担することで、学校給食の完全無償化を実施する。



生活保護費追加給付事業 1億8681万円

引き下げは違法との最高裁判決に基づいた、国から当時の受給者への差額給付

Q 追加給付事業の補正予算に至った背景と国からの通知内容は。

A 平成25年に改定された生活保護基準は、令和7年の最高裁判決で取り消された。その後、国の専門員会で対応策が検討され、生活保護費の差額の追加給付が示された。

Q 対象となる世帯数は。

A 2622世帯を見込んでいる。

一般会計
予算審議令和8年度
一般会計予算**851億3000万円** (前年度比16.9%増)

連続して前年度比+100億円越えの過去最大予算に

なぜ最大規模の
予算が続くの？継続的な大型の事
業計画があるから！**Q** 財源は？ **A** 主に「地方債※」

◆ごみ処理施設整備推進事業では…

本年度予算額185億8183万円
(うち地方債は148億3160万円)◆余熱利用施設及び(仮称)本多静六記念
市民の森・緑の公園一体整備事業では…本年度予算額 41億9581万円
(うち地方債は32億4420万円)◆学校施設営繕事業(外壁改修・屋上防水など)
では…本年度予算額 36億8654万円
(うち地方債は23億2870万円)

事業と財政計画は適正か？

Q しずか館の解体事業などに地方債を充てるが、交付税措置がないので、従来は否定していた財政運営ではないのか。また、交付税措置のないものは、慎重に検討するのではなかったのか。方針を変えたのか。**A** 解体事業に対しても、充当率は90%で交付税措置は50%となっている。これまでのように、慎重に検討して、借り入れは「必要最小限度」としている。久喜市だと財政調整基金は
どれくらい必要なのか？**Q** 令和7・8年度に財政調整基金の残高が大幅な増減を繰り返している。目標として適切な額を設定しないのか。**A** これまで中期財政計画と見込みの範囲で推移してきている。(30億円~40億円)**Q** 見込みとは10億円程度のブレと大きな乖離があると思うが。**A** 財政調整の機能を発揮した結果だ。

本庁の増築棟の基本方針・計画、市民参加について

Q 基本構想や基本計画はどのようにして進めるのか。また市民参加については、パブリックコメントではなく、審議会の形で場所や規模などを議論してはいかがか。**A** 基本構想は、まだ具体的な内容ではないので、パブリックコメントという形で市民の意見を伺い、具体的な内容は、基本計画の中で決定していく予定だ。**Q** 予算書に基本構想・基本計画策定支援とある。建設場所や委託について、検討はどのようにするのか。市民参加が望ましいが。**A** 場所は、本庁舎の周辺や県立図書館の敷地などを検討してきた。それぞれの優位性を比較して、基本計画で場所を決定したい。建築専門家や公募市民等、市民参加で審議会を進めていきたい。

地方債発行の考え方は

Q 新ごみ処理施設だけで地方債は148億円。内訳では、物価高騰分が後になって37億円も請求が来た。これは想定外。また、余熱利用施設だけで32億円。将来の子どもたちに借金を残すことになるのではないかと。

A 地方債残高の見通しは、大きく変わることもある。中期財政計画と比較して増加しているが、第2期における公共施設の更新・除却などの費用試算をふまえて、市債の適切な発行額を見込んだためである。

見通しのないスマートインター 計画はもう止めては

Q スマートインター事業には、市長の施政方針でも触れておらず、予算も3万円である。事業推進は現実的ではない。断念すべきだ。

A 市としては、マスタープランにも位置づけがされているので、これまでの数十億円かかる手法ではなく、もっと設置費用の少ない手法をめざして取り組んでまいりたい。

余熱利用施設運営について

Q 余熱利用施設の有料施設はどれか。

A 有料になる施設サービスは、温水プール、温浴施設、多目的室、トレーニングジム、フィットネススタジオ。

Q 施設運営にあたるのは民間だが、市職員の配置はあるのか。

A 業者委託なので、市職員は配置しない。



市役所ロビーに展示してある余熱利用施設のジオラマ

地方債で交付税措置のないものの活用について

Q これまでの財政計画では地方債借り入れの際、後年度に交付税措置がなされないものについては慎重にするとしていたが、対象は金額にしてどれほどか。またどのような地方債があるのか。

A ごみ処理施設整備事業として24億円。小中学校の屋上防水などで13億円。ふれあいセンターの管理事業で1億4000万円。以上のように、法や国の方針で認められた特定事業に該当するものについては活用した。

トイレの洋式化を進めよ

Q 公共施設をはじめ、学校、駅前公衆トイレ、公園トイレすべてを洋式化することを求める。市内のトイレをどのくらいの水準まで洋式化にするのか。

A 今後も引き続き、全てのトイレを対象に取り組んでまいりたい。

(特に目標は示さず)



予算以外の主な議案

こんな質疑がありました

97号

学校医・学校薬剤師などの報酬を増額する条例改正

学校医・学校歯科医・学校薬剤師・
保育園医などの報酬の引き上げ

Q 県内他市の水準や医師会との協議内容は反映されているのか。

A 県内40市の報酬額を比較し、他市との水準や乖離を確認したうえで医師会等と協議し改定額を設定した。



98号

介護保険法施行令の改正に伴う条例改正

税制改正を介護保険料に反映させない

Q 給与所得控除の変更で、課税だった人が非課税になる場合がある。介護保険料の計算に影響が出ないようにするための改正なのか。

A 給与所得控除の拡大により、所得自体は変わらないにもかかわらず住民税が非課税になる人が生じる。介護保険料は計画期間中に変更できないため、税制改正による保険料収入の減少を防ぐ必要がある。このため、令和8年度に限り前年度と同じ算定基準を用いるよう国の制度が改められ、それに合わせて今回の改正を行うものである。



訂正とお詫び

くき市議会だよりNo.64、19 ページ「所管事務調査 総務常任委員会」の記事に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

【誤】（略）令和9年4月から南栗橋駅～久喜駅東口間で実施される（略）

【正】（略）令和9年4月から南栗橋駅～東鷲宮駅東口間で実施される（略）

99号

市立保育所の保育時間を延長するための条例改正

市立保育所における土曜日保育の時間延長

Q 土曜日の延長保育時間と保育料は。

A 8時30分から16時30分までで、平日の通常保育と同じ時間帯で実施する。保育料の変更はなく、現在の保育料のまま利用できる。

Q どのくらいの方が利用する見込みか。

A 今回増えるすみれ保育園・ひまわり保育園あわせて約25人の利用を見込んでいる。



すみれ保育園

102号

学童保育クラブの統合による条例改正

栗橋南小学校の「風の子学童保育クラブ」と「風の子南学童保育クラブ」を統合する

Q 風の子学童保育クラブと風の子南学童保育クラブを統合する理由は何か。また、指定管理者の変更を見込んだ対応なのか。

A 両クラブは現在、それぞれ1クラブ1支援単位で運営されている。令和8年4月から運営主体が（一社）久喜市学童保育運営協議会に一本化されることを踏まえ、名称や運営方法を協議した結果、2つのクラブを一体的に管理した方が事務の効率化や運営の統一が図れるとの結論に至った。このため、1クラブ・定員90人として統合する。



現在も同敷地内にある2つのクラブ

全員賛成で可決・同意となった議案

83号 令和7年度一般会計補正予算(10号)(県道春日部久喜線の渋滞対策など)(予)	104号 建築台帳記載事項証明書等の交付手数料を改める条例改正(建)
84号 令和7年度国民健康保険会計補正予算(5号)(福)	105号 農業集落排水などを公共下水道に接続するための条例改正(建)
85号 令和7年度介護保険会計補正予算(5号)(福)	106号 市費負担教職員の給与を変更する条例改正(教)
86号 令和7年度後期高齢者医療会計補正予算(3号)(福)	107号 市道の認定(建)
87号 令和7年度土地区画整理事業会計補正予算(3号)(建)	108号 市道の廃止(建)
88号 令和7年下水道事業会計補正予算(3号)(建)	109号 令和7年度一般会計補正予算(11号)(市有地売却、しずか館アスベスト処理など)(予)
93号 令和8年度土地区画整理事業会計予算(建)	110号 令和8年度一般会計補正予算(1号)(高齢者応援商品券配布など)(予)
96号 市の公告を市ホームページ上で行うための条例改正(総)	113号 久喜看護専門学校跡地を住宅会社に売却(総)
97号 学校医・学校薬剤師などの報酬を増額する条例改正(教)	114号 工事請負変更契約の締結について(大中落川流域雨水貯留施設(桜田小学校)整備工事)
99号 市立保育所の保育時間を延長するための条例改正(福)	115号 人権擁護委員の推薦 <small>はしちと ひさお</small> 橋本 久雄氏
102号 学童保育クラブの統合による条例改正(福)	116号 人権擁護委員の推薦 <small>かなざわ みつお</small> 金沢 光伸氏
103号 「あそびのにわ」の運営を指定管理にするための条例改正(福)	



議案に対する討論

89号 令和8年度一般会計予算

【反対】計画を大幅に上回る借金増と貯金減少は危機的状況。交付税措置のない借金も膨らむ中、計画を軽んじる市長の発言や、次世代への負担転嫁を「公平」と正当化する姿勢は容認できず、将来にツケを回す予算に反対する。(宮崎議員)

【賛成】限られた財源の中で、必要な施策を着実に実施しつつ、将来世代への負担にも配慮した予算編成がなされており、責任ある財政運営が図られているものと認識する。加えて、持続可能な財政運営への配慮も評価する。(大橋議員)

【反対】①財政調整基金積立金が過大である。②市債発行を抑制すべき。③公共施設やインフラの維持補修費を増額すべき。④特に通学路の交通安全路面標示の補修促進を。⑤庁舎増築棟整備の基本構想は市民参加で進めるべき。(猪股議員)

【賛成】本予算は、新ごみ処理施設整備や防災公園管理棟など将来投資を進めつつ、子育て支援や防災強化を充実させ、財源確保と負担の公平性に配慮した持続可能なまちづくりを図る内容であり、賛成するものとする。

(奈良議員)

【反対】ごみ処理施設整備だけでも148億円の地方債。他にも借金が続くのでは、さらに地方債依存が懸念される。身の丈に合った慎重で余裕の計画を立てるべきだ。福祉センター廃止は反対。公共施設のトイレ洋式化を求める。

(杉野議員)

90号 令和8年度国民健康保険会計予算

【反対】税負担増が見込まれる予算だ。医療費の伸びを抑える方を求める。今後の高額療養費の限度額引き上げ、OTC類似薬の保険適用外しは医療崩壊につながる。一般会計法定外繰り入れを行い市民の暮らしを支える

べきだ。(渡辺議員)

【賛成】医療費増と被保険者減少が続く中、繰入に配慮しつつ段階的な税率見直しにより国保制度の安定運営と持続可能性を確保する現実的な予算であり、賛成とする。(瀬川議員)

91号 令和8年度介護保険会計予算

【反対】介護保険は改正のたびに料率が引き上げられてきた。8月から施設サービスは食費が一日100円、補足給付は、年金額より変わるが、30円、60円引き上がる。調整交付金は5%を、国の補助率の引き上げを求める。

(渡辺議員)

【賛成】高齢化に伴う給付費増と人材確保の課題の中、給付確保を最優先に基金活用や予防施策を通じ制度の持続可能性を図る現実的な予算であり、賛成とする。(瀬川議員)

92号 令和8年度後期高齢者医療会計予算

【反対】均等割額7,770円の値上げ、所得税率0.71ポイントの引き上げは反対だ。軽減世帯は全体の63.09%にもなる。しかも「子ども・子育て支援金」が加わったが被保険者負担にすべきでない。資格確認書は全員に交付すべき。(渡辺議員)

94号 令和8年度水道事業会計予算

【反対】決算数値では、料金収入が34億5千万円。純利益は2億6千万円。高い県水を抑えれば、収益は好転できる。地下水の有効利用を高めるために汲み上げに関する調査を求める。一般会計からの繰り入れ検討も求める。(杉野議員)

【賛成】上水道事業は施設老朽化、料金収入減少、技術者不足という三大問題による「経営難」であり今後の値上げは避けられない。各施設設備の効果的な更新や経営改善と災害対策の努力をし、水道水の安定供給を要望する。(瀬田議員)

95号 令和8年度下水道事業会計予算

【賛成】下水道インフラに関わる深刻なニュースが報道されている。今後、起こり得る課題が明確化された。そのような中、経営改善として、農業集落排水施設からの公共下水道接続への順調な移行の報告があり、評価する。(瀬田議員)

97号 学校医・学校薬剤師などの報酬を増額する条例改正

【賛成】学校医・歯科医・薬剤師の報酬改定は、専門性と責任に見合う適正な水準の確保であり、人材確保や職務継続、制度の持続的かつ公平な運用にも資する重要な是正措置であると評価し、本議案に賛成する。(園部議員)

98号 介護保険法施行令の改正に伴う条例改正

【反対】この条例改正は、税制改正で税が下がるのに介護保険料は下がらず、市民の負担軽減を奪う不公平な制度となっている。特定層のみが影響を受け、国の財源不足を市民に転嫁する仕組みであり問題が大きいことから反対だ。(川辺議員)

【反対】税制改正で給与所得の最低保証額が引き上げられた。今回の改正は前年度まで課税だった人が非課税にならないための一年限りの改正だ。改正が意味をなさない。納付される保険料が減ってしまう分は国が補填すべきだ。(渡辺議員)

100号 乳児等通園支援事業の基準改正に伴う条例改正

【反対】この議案は保育という場所、環境、人員、安全など課題があり、保育士不足、処遇改善こそ必要だ。事業所ごとの定員に加えて乳児・幼児の区分をなくす改正は年齢の偏りがでる。空きを出さないための規制緩和は問題だ。(渡辺議員)

【賛成】在宅で子育てをしている家庭には、孤立や不安を抱えながら、誰にも相談できずにいる方が少なくない。本制度は、そうした家庭と社会をつなぐ「大切な入り口」となる。誰一人取り残さない子育て環境の実現のため賛成。(大橋議員)

101号 特定乳児院等支援事業の基準公布に伴う条例改正

【反対】前議案100号と同様に、見切り発車での改正であることは明らかである。1時間当たりの利用定員の子ども区分の満1歳未満の区分と満1歳以上の区分をなくす規制緩和はすべきではない。(渡辺議員)

110号 令和8年度一般会計補正予算(1号)

【賛成】国の小学校給食費無償化と市独自の中学校無償化を、子育て世帯の負担軽減や定住促進に資する英断として高く評価する。給食費徴収に関する業務削減もメリット。財源や国の動向を注視し教育的価値の向上を求め賛成。(大谷議員)

111号 令和8年度国民健康保険会計補正予算(1号)

【反対】税率改正は4年連続となる。一人当たりの平均所得は約94万6千円、税の負担額は約12万7千円。税負担率は12.2%にもなる。増税はあり得ない。医療は格差を出してはならない。国の負担率増、市の独自措置を求める。(渡辺議員)

【賛成】子ども・子育て支援金は社会全体で将来世代を支える社会保障施策であり、制度の枠組みの中で公平に負担する考え方は妥当であることから、賛成とする。(瀬川議員)

112号 国保税の増額、子ども・子育て支援納付金の新設による条例改正

【反対】国保税の負担増は限界に達している。前年度比で8.34%増、4年間で40.9%増は異常でしかない。子ども・子育て支援金を国保税で賦課する制度は根拠が不明確であり、財源は保険税ではなく税金で行うよう国に要望すべきだ。(川辺議員)

【反対】均等割額は11,500円の増で一人当たりの税額が8万3,300円になった。8.34%の引き上げで、4年間の連続率は40.9%にもなる。しかも「子ども・子育て支援納付金」が加わった。こんな大幅増税は行ってはならない。反対だ。(渡辺議員)

(渡辺議員)



一般質問 皆さんの声を議会へ!



4日間で21名が登壇

紙面の都合で一般質問は要約を掲載しています。記事は600字または660字(写真の枚数によって異なる)以内で質問した議員本人がまとめています。

議会をネットで見よう!

本会議・一般質問をインターネットで、ライブ及び録画配信しています。

久喜市議会 中継

検索



QRコードを読み取ると議会中継にいけます!

QRコードから録画映像へGO!



掲載記事の議員写真横にあるQRコードから録画映像を是非ご視聴ください。

防災の取組としてのフェーズフリー*の考えは

A 日常の延長で防災力を高める上で有効である

田村 栄子 議員

市民の政治を進める会



Q フェーズフリーの考え方を周知するには。

A 防災ハザードマップや市ホームページ等で周知を図る。民間施設においても周知を図る。

Q フェーズフリーの具体的方策を伺う。

A 災害時にはかまどになるベンチや、テントに使用可能な日よけの設置を進めている。

Q 熊本地震時に住民の50%程がハザードマップを見ていなかったという報告があった。久喜市のハザードマップの活用状況と周知の状況は。

A 防災訓練時のアンケートで多くの市民が地域の災害リスクを認識していることを確認した。出前講座や地域の防災訓練で活用促進、周知を図る。



久喜市防災ハザードマップ

手書き学習の充実と紙の教科書活用の推進を

Q 紙の教科書をデジタル教科書に移行する勢いに現場でひずみが出ており、次世代教育の低下を危惧する報道もある。市の見解を伺う。

A 現在はまだ紙の教科書が主体。デジタルは算数、数学の図形や英語等に限っている。今後はデジタルで効率を上げ、紙で思考を深めるハイブリッドな学びがスタンダードになると考える。

Q IT先進国のスウェーデンでも大幅な学力低下が判明し、脱デジタルへと転換した。デジタル学習は、紙に比べ記憶が定着しにくいとの研究結果もある。教育委員会の見解を伺う。

A 諸外国に比べて日本の学校のデジタル活用が非常に遅れているため、一人一台端末になった訳である。デジタル活用は一つの手段と考えていく。

栗橋中央コミセンの代替施設整備は

Q プレハブ設置を急いでほしい。

A 来年度中に設置をしたい。

久喜宮代清掃センター跡地に 公式規格の野球場整備を



成田 ルミ子 議員

久喜みらいの会

Q 市民要望の多い公式規格の野球場を久喜宮代清掃センター跡地活用案で検討したらどうか。

A 宮代町との行政境が河川のため、敷地の一体活用は考えていない。公式規格の野球場は難しい。

Q 久喜市と宮代町が一部事務組合として整備した施設である。共有した課題もあるのでは。跡地利用を個別に考えることは必ずしも最適ではない。広域的な取り組みで跡地利用の可能性の検討を。

A 協議の中で広域的利用の意見を伝える。

中落堀川のり面の美化について

Q 久喜駅東口から久喜東3丁目方面にある中落堀川遊歩道のり面に投げ捨てたごみが散乱している。状況把握と改善策はいかがか。

A 状況の把握はした。啓発看板を増やし定期的にごみの回収も行う。

Q 誰かが整備している場所、きれいな場所には

ごみは捨てられない。市がごみの回収をするばかりでなく、ポイ捨てがひどい区間の上流下流部分にモデル事業としてごみ箱、トング、ビニール袋を置いてごみを拾いながら歩く区間にするなど考えてはどうか。

A まずは市でごみを捨てにくい環境を作る。



中落堀川へのごみの投捨て（東大橋付近）

からくり時計が動くことが前提の看板表示は問題

Q 吉羽大橋のからくり時計の看板表示を吉羽大橋から見る桜の案内などに変更し、現況に即したものにすべき。現在までの修理の経緯は。

A 久喜工業高校のお力をお借りし、修理の検討もしたが、部品の生産がなく断念している。

要望 からくりを直せた人の名前を時計につけるなどのアイデアを周知する看板にしたらどうか。

SDGsの推進とESD*の充実に向けては

A 誰一人取り残さない社会の実現のため推進

齊藤 広子 議員

公明党久喜市議団

Q 今後SDGsとESDをより一体的に推進していくに当たり描いている方向性について。

A ESDは人を育てる教育、SDGsは社会全体の目標という補完関係にあるものと考えており、小中学校におけるESDや市職員を対象とした研修、市民の皆様への普及啓発等を通じ、持続可能な社会づくりに必要な知識、価値観、行動力を育むことで2030年のSDGsの実現に向け取り組む。



高次脳機能障害支援法の施行を受けての取り組み

Q 令和8年度障がい福祉計画、地域福祉計画が改正されるにあたり、高次脳機能障害への支援を進めていく意向が具体的に明示されるのか。

A 高次脳機能障害については、特性などを分かるようにしながら、支援していく方向性をきちんと計画に明記して取り組んでいきたい。

高齢者サービスガイドブック作成と支援情報周知

Q 市内における高齢者向けの支援制度、相談窓口等の情報を一覧で整理し、高齢者サービスガイドブックとして紙媒体で集約、提供する必要性について、市の見解を伺う。

A バランスを取りながら考えていきたい。なるべく早く実現したいと考えている。

県道幸手・久喜線の歩道未設置区間における今後の整備について

Q 起終点や対象範囲について市が把握している最新の情報を示されたい。

A 早期に事業が完了できるよう努める。



高齢者支援ガイドブック
加須市HPより



ESD …環境や貧困、平和など世界のさまざまな問題を自分のこととして考え、持続可能な社会をつくる力を身につけるための教育。

管理計画認定を受けたマンションは何棟か

A 対象マンションは100棟だが認定はまだゼロ

大谷 和子 議員

Q 久喜市では令和6年にマンション管理適正化推進計画を策定し、相談会や専門家派遣・管理計画認定を行っているが、2年間の実績を伺う。

A 2年間に相談が21棟、専門家派遣が2棟。

Q 管理計画認定を受けたマンションは何棟あり、対象になり得るマンションは何棟あるか。

A 管理計画認定を受けたマンションは0棟で、対象になり得るのは100棟。

Q 現在3分の1のマンション長寿命化促進税制の減額割合を2分の1に大きくし、計画を進める考えはないか。

A 県内自治体と同じ3分の1で実施していく。

Q 適正に管理されていることが、中古物件購入の後押しになる。管理認定を増やす努力を。

A 購入者にとって、認定を受けていることは適正管理されているかの見極めになり、市場で取引される一つのきっかけになる。管理組合の現状を把握し、周知の仕方を工夫し取り組んでいく。

久喜みらいの会

Q 中古マンションの購入を検討する若年世代の背中を押す広報や費用の支援等の施策を伺う。

A 移住ガイドの配布、移住定住見学ツアーを実施している。費用への支援は重要と考えることから他市事例を参考に検討していく。



東鷺宮駅前に広がる団地型マンション

学びの多様化学校（不登校特例校）設置の考え

Q 国が推進する「学びの多様化学校」を設置し、公教育の責任において困難を抱える児童生徒に質の高い学びを補償し、選択肢を増やす考えは。

A オンライン分教室を対面型入学、登校型の分教室に発展させられるか国・県と検討したい。



学校開放事業の体育館トイレの洋式は急務！

A 体育館トイレの洋式化を検討していきたい

春山 千明 議員

Q 学校施設を市民のスポーツ振興やコミュニティ形成の場として利用している団体から、体育館トイレの洋式化について強い要望がある。避難所としての機能強化、バリアフリー化の観点からも早急に洋式化に取り組むべきだが。



体育館の手すりもない和式トイレ

A 今までは子どもたちの教育環境を整えることを第一の使命であると考え、トイレの洋式化は児童生徒の利用頻度が高い校舎を優先してきた。今後は体育館のトイレの洋式化も検討していく。

久喜総合文化会館の利用向上への取り組みを

Q 展示用パネルの更新・追加、喫茶室の有効利用、広場のテーブル更新、ロビーのイベント利用

久喜みらいの会

促進などを検討し、利用向上を推進すべきだが。

A 展示用パネルは塗装や部品交換等、修理により対応し、新たに購入は考えていない。喫茶室は新たな活用方法を検討。広場のテーブルは修理や入替えを実施していく。ロビーは原則、貸出しはしていないが、イベントなどを行う際に使用希望がある場合は柔軟に対応する。

特別支援教育就学奨励費制度*における所得制限を見直すべき

Q 本制度における所得制限を見直すべき。

A 保護者の負担能力に応じた支援をするという国の制度はやむを得ない。

Q 本制度は困窮者世帯への就学援助と違い、教育の機会均等のためのもので、障がいという特性によって発生する追加費用を個人の所得に転嫁していくのは市の責務として変えていくべき。県や国に対して働きかけをすることはできるのか。

A 機会を捉えて要望はしていきたい。



リフィル処方箋制度の周知を

A 制度の対象者や条件について広く周知する

大橋 きよみ 議員

公明党久喜市議団



Q リフィル処方箋は、慢性疾患などで症状が安定している患者が、医師の判断のもと一定期間同じ処方薬を繰り返し受け取ることができ、通院回数や待ち時間の軽減、医療費・交通費の負担軽減、さらには医療費の適正化にも資する制度である。周知を徹底すべきと考えるがどうか。

A 新たに市ホームページで周知を行った。今後、広報くきへの掲載や、特定健康診査などの機会に併せたチラシ配布も可能である。

福祉分野におけるペット問題の包括的支援

Q 福祉分野におけるペット問題の取組状況は。

A 埼玉県作成の高齢者向けペット問題チラシを、ケアマネジャー・地域包括支援センター・民生委員へ配布している。相談があった場合は関係課で情報共有し、連携して訪問・状況確認を行い、本人に寄り添いながら対応している。

産後ケア事業のDX推進について

Q 産後ケア事業は、母親の心身の回復や育児

不安の軽減、虐待予防の観点からも重要である。一方で、利用申請が毎回必要で空き状況が分かりにくいなど、利用のハードルがある。予約や調整を一元管理できるDXツール「あずかるこちゃん」の導入について、市の考えを伺う。

A 令和7年11月から電子申請を開始し、利便性向上と職員負担の軽減を図っている。今後も電子申請と対面支援を併用した対応を継続する。

久喜市立菖蒲南中学校跡地の今後

Q 菖蒲南中学校跡地について伺う。

A 現状有姿での売却。令和8年度中に公募やブレゼンを実施し、売却に向けた手続きを進める。



産後ケア「あずかるこちゃん」の予約サービス画面

防災力の向上を

山田 正義 議員

公明党久喜市議団



Q 市において、大規模災害時、避難所や災害対策本部において通信が途絶した場合の代替手段はどのように確保しているのか、市の現状を伺う。

A 衛星携帯電話や防災行政無線、特設公衆電話や避難所運営用スマートフォンを配備し、複数の通信体制を確保している。

Q スペースX社のスターリンクは地上回線に依存しない通信手段として他自治体でも導入されている。本市の避難所や防災拠点などへ配備しては。

A 現在複数の通信体制を確保していることから、現時点ではスターリンクの配備は予定していない。

Q 大地震時、エレベーター閉じ込めが発生した場合に、乗客が健康状態を損なうことなく過ごせることを目的として、公共施設のエレベーター内に防災キャビネット^{*}を設置してはいかがか伺う。

A 令和7年6月に埼玉県危機管理課から防災キャビネット設置促進の依頼があったことから、現在設置に必要なスペースや利用状況等を鑑みながら、設置について検討しているところである。

Q 大地震発生時に起こる火災は電気に起因している。今後の地震に備え、揺れを感知し、電気を遮断する感震ブレーカーの設置について、普及の加速化が求められると考えるが、市の見解は。

A 感震ブレーカーは、震災時の通電火災対策として非常に有効であるものと認識している。現在市ホームページや防災ハザードマップ、出前講座などを通じて周知を図っており、引き続き普及に努めていく。

その他の質問 ◇公共交通について◇狐塚ヘルシーパークの整備について



防災キャビネット



防災キャビネット

…災害時に必要な備品を収納する専用ロッカー。転倒防止や、揺れで扉が開かないロック機能を備え、停電時でも目立つ工夫がされている。避難経路やエレベーター内に設置されるのが一般的。

南栗橋BLP[※]構想を起点に 久喜市の交通課題の解決を



瀬川 泰祐 議員

久喜みらいの会

Q 南栗橋BLP構想の戸建街区の進捗は。

A 172戸の分譲計画に対し、令和8年1月末時点で120戸の住宅が建築済み。今後は新たに約59戸の宅地造成を予定。

Q 人口が増え、保育や医療などの公共サービス需要にどう対応するのか。

A 庁内各課で状況を検証しながら対応していく。また事業者とは定例的に情報共有を行い、まちづくり全体として住みやすさの向上を図りたい。

Q バーベキュー場やデイキャンプ場の設置が予定されているが、どう管理するのか。

A これまで以上に多くの利用者の来園が見込まれることから、駐車場を新設するほか、施設の適切な管理運営を図るため、指定管理者制度の導入を検討している。

Q 医療機関誘致や次世代モビリティの今後は。

A 医療機関の誘致は、複数の診療科目を想定

し、鉄道事業者と連携しながら、医師と交渉中。次世代モビリティは、BLP構想の中で実証を重ね、その成果を踏まえ、まずは南栗橋地区、そして将来的には市内各地域への展開を目指したい。

提案・要望 公園の管理は、これまで地域活動を担ってきたNPO法人が存在している。管理体制や方針が一方的に決まることのないよう、既存団体や住民と、事前の意向確認や役割分担の整理を行いながら進めてもらいたい。また次世代モビリティの実証は、当該地区にとどまらず、久喜市の交通弱者に対する課題の解決に繋げるよう道筋を示すことを強く要望する。



南栗橋BLPの次世代モビリティ

東鷲宮駅東西地下道の漏水には抜本改善を

A 300カ所対策したが今後も改善を進める



杉野 修 議員

日本共産党久喜市議団

Q 地下道内一帯の漏水事件は、バリアフリー化工事の直後から発生し一向に収まらないが、この際抜本的な改善策を講じる必要があるのでは。

A 漏水箇所を調査し、300カ所に薬剤注入をしてきたが、他の場所から水が染み出している。

Q エレベーター前、地下道両側の壁沿いなど、漏水場所が様々だが、止水対策の工法はそれぞれどのようなか。

A すべて同様の工法である。

Q 地下道内の壁面に沿って水路があるが、漏水した水が水路に行かず地下道の床面中央部に溜まっていることが多い。床面の傾斜が問題では。



東西地下道の全景

A 東西地下道全体のバリアフリー化工事の際、東側から西側に流れるように施工した。

Q 漏水の原因に応じた手法もあるのでは。

A 両側の水路に漏水を誘導するような溝を掘って、水を落とし込むようなことも行っていく。

要望 工法も技術面も業者に瑕疵はないのか。自分の負担を事業者^かに負わせるべきだと考える。

鷲宮福祉センターの代替施設に行政センターを

Q すでに解体に向けて補正予算が組まれた福祉センターだが、利用者・団体は活動場所の代替施設を探している。これまで団体利用者のみなさんとは、どのように協議してきたのか。

A 令和9年3月で施設の閉鎖という内容のポスターを掲示して周知している。今後の活動場所については、余熱利用施設の案内もしている。

Q 福祉センターの近隣で案内している施設は。

A 鷲宮東・西コミセンや、新しい桜田コミセンなどの利用が見込まれるので案内している。

冬だから確認したい。 火災と空き家の関係性の認識

瀬田 博文 議員

無会派



Q 管理されていない空き家への行政の現状把握や認識と火災の危険性等について、特に菖蒲町地区の空き家は屋敷林が多く、周りに木々・落ち葉・雑草があり、この時期、乾燥することでより火災の危険性が増している。これらに対する行政の対応について伺う。

A 管理されていない空き家等は、樹木の越境や経年劣化による建築材の飛散などのほか、空き巣や火災に対する不安など、周辺住民の安全、安心な生活に悪影響を与えているものと認識している。このような空き家等に対しては、空家等対策の推進に関する特別措置法に基づき、適切に管理するよう



空き家の雑草

助言、指導している。

雑草対策として防草シートの活用推進を

Q 雑草繁茂の状況は年々ひどくなっている。雑草の対策として、対象地を防草シートや打設コンクリートなどで覆うことを、本格的かつ積極的に導入すべきと考えるが、いかがか伺う。

A 雑草対策には、除草とともに交通安全保全除草も実施している。また除草対応の難しい箇所はシートやコンクリート打設を行っている。これらの対策は、除草の範囲や回数を減らす対策として効果的であると考えている。雑草による交通事故の発生状況は警察からの連絡で把握しているが、死亡事故などの事故が発生した際は、警察が現地で要因や対策の道路診断を行っている。近年では雑草の繁茂が要因の事故は確認されていないが、除草対策については、防草シート設置やコンクリートによる打設を実施している。

市職員の業務削減を

貴志 信智 議員

無会派



Q 市職員は業務過多である。スクラップ&ビルドというが、ビルド&ビルドの状態だ。特にイベントの駐車場係や、広報紙の配布などの業務は委託も可能ではないか。定型業務を出来るだけ減らし、政策的業務に充てる時間を生み出すべき。

A 市職員がイベントの駐車場係や、広報紙を配布することによるメリットもある。各業務を精査し、適切に判断して参りたい。

口頭でのヒアリングは「根拠」になるのか

Q 栗橋しずか館跡地に、行政施設、商業施設、集合住宅の複合施設を建設したい方針が示された。この方針決定に際して、民間事業者へのヒアリングが行われたとのことだが、ヒアリング先はどのように選定したのか。またヒアリングは口頭により行われ、記録が残っていないと明らかになった。可能性調査など、正式な段取りが必要だったのではないか。

A 跡地有効活用を検討する過程において、企業

側から見た一般的な考え方を参考にするために、市内で建設実績のある民間企業にヒアリングをした。導入可能性調査は、今後検討する。

スマート農業への支援を

Q 農業の生産性を高めるべく、先進的な資材の購入をもっと支援するべきでは。予算として全体で100万円では少なく、情報も行き渡っていないとは思えない。

A 令和7年度はGPS直進アシスト機能付き田植え機に補助金を交付する。今後も農業者等の意見を伺い、現場のニーズに応じた支援を実施したい。



市長は厳しい財政状況を 数値で市民に説明すべき！



宮崎 亜希 議員

無会派

Q 市長は市の財政状況を一般論ではなく「借金増と貯金減の事実」を具体的な数値で市民に説明すべき。中期財政計画では、地方債残高が令和12年度に約600億円と、令和2年度から3倍増。基金は半減。将来世代への過度な負担ではないか。

A [市長] 概要部分で財政状況をしっかりお知らせしている。市債の多くはごみ処理施設や義務教育学校等。将来負担の適正化も含めて必要最小限。

Q 市長は久喜市の財政状況について「全く問題がない」と考えているのか。

A [市長] 全く問題がないとは考えていない。将来的に強い財政基盤を作っていかなければならない。連携協定の状況を「見える化」すべき

Q 市は、企業や各種団体と様々な連携協定を結んでいる。協定先の一覧と、どのように生かされているかをホームページに掲載すべきでは。

A 取組内容を分かりやすく整理し、掲載する。介護に関する入門的研修の目的設定と実効性は

Q 市は令和6年度に「介護に関する入門的研修」を実施したが、定員20人に対し参加者は6人のみで、就労成立には1件も至らなかった。事業設計や実施方法を検証し、施設見学や就労マッチングを前提とした内容に改善すべきでは。

A 初年度で内容を十分に浸透できなかった。当該事業は裾野を広げる事が主眼のため、今後も同様の研修内容での継続を考えている。実施内容や周知方法等についてはより良い方法を探る。

Q 介護人材不足が深刻なため、実際の雇用確保に結びつく研修内容にすべきではないのか。

A 就労を前提とした事業ではない。



訪問販売の注意喚起の強化を求める

A 先進地事例を調査・研究する

園部 茂雄 議員

久喜みらいの会

Q 近年、久喜市内で訪問販売による高齢者の被害が報告されている。高齢者の不安や孤立に乗じた悪質な販売手法による契約トラブルや金銭的被害が懸念される中、市として、訪問販売による高齢者の被害の発生状況をどのように把握しているか。相談件数や傾向など、現時点での状況は。

A 久喜市消費生活センターへの訪問販売に関する相談件数は、令和6年度が65件、令和7年度は令和8年1月時点で35件である。相談の半数以上が60歳以上からであり、特に「分電盤の無料点検」を装った高額修理契約など、悪質な点検商法が増加していると認識している。



Q 被害の未然防止に向けた市の現在の対応策や関係機関との連携体制は。

A 市ホームページや「広報くき」で被害事例や対策を紹介し、注意喚起を実施している。また、警察署、地域防犯推進委員、市内の県立高校などと連携し、啓発活動を行っている。

Q 先進地の奈良県生駒市では、消費者安全法に基づき、高齢者、障がい者、認知症等により判断力が不十分となった人の消費者被害を防ぐため、市および地域の関係者が連携して見守り活動を行う「消費者安全確保地域協議会（みまもりネットワーク）」を組織し、対応しているが、いかがか。

A 非常に参考となる事例であり、今後、調査・研究していく。

その他の質問 ◇人口減少に対応した持続可能な行政組織の構築について◇新ごみ処理施設に係るごみ回収方法の変更について



公園・体育館・久喜駅等トイレの 改修・洋式化を



渡辺 昌代 議員

日本共産党久喜市議団

Q 菖蒲地区の鎮守の森公園・道のオアシスのトイレがあまりにも古くボロボロである。改修されたところと差が大きい。改修・洋式化をすべき。

A 高圧洗浄や天井等の修繕をしていく。

Q 特に鎮守の森公園のトイレは、大変古く利用しづらい。洋式化すべきではないか。



鎮守の森公園トイレ

A 一部洋式があるので、現段階では行わない。

Q 学校体育館・久喜駅東西口・各コミュニティセンターの洋式化・修繕は何度も要求してきたが進んでいない。全体計画を立てるべきではないか。

A 学校体育館は各学校の状況を踏まえ検討していく。久喜駅東西口トイレは利用が多いことから改修等について検討をする。各コミセンは改修工事に合わせて洋式化を対応していく。

高速道路アンダーパスの水たまりの改善を

Q 六万部地区にある東北道のアンダーパスで常に水がたまり、冬場は凍って危険な場所がある。改善要求をしてきたが、根本的な修繕を望む。

A 解消に向け、専門業者と現状調査をし、必要な工事に向けた検討を進める。

菖蒲老人福祉センターは廃止でなく存続をすべき

Q 老人福祉センターは生活相談、健康増進、教育向上、趣味や地域住民の交流の場である。高齢者の生きがいの場をなくすべきではない。

A 老朽化が進んでいるので余熱施設に集約する。

要望 老人福祉センターは久喜市の優れた施設である。無償で利用でき、入浴施設や送迎もある。代替施設があると言うなら同様の利用にすべきだ。

その他の質問 ◇栗橋中央コミセンの今後の利用について◇農業地域の^{せきばん}堰番手当の復活をすべき

ユニバーサルスポーツ*の 普及と企業連携を推進すべき



川内 鴻輝 議員

久喜みらいの会

Q 健幸・スポーツ都市の実現に向けて、スポーツ実施率が低い障がい者と若年層の現状と課題は。

A 国の調査では、障がい者32.8%、健常者52.5%となっている。市アンケートでは成人53.4%に対し、20代28.3%、30代38.5%である。機会不足に加え、障がい者は体力面への不安、若年層は仕事・家事・育児による時間の制約が課題。

Q 高齢者に人気のウォーキングの普及方策は。

A ゲーム性を取り入れた「くき健康ウォーク」や、コバトンALKOOマイレージの登録支援により、習慣化を促進している。

Q ユニバーサルスポーツの普及と企業連携を推進すべき。

A ピックルボールやモルックの体験を、健幸スポーツフェスタKUKIや商業施設で実施している。企業の健康経営や社会貢献とも親和性が高い

ことから、官民連携を推進していく。

Q 第2期スポーツ推進計画で掲げた全体目標65%の達成に向けて、20~30代に対する具体策と成果指標は。

A 商業施設やイベントで「ついでに参加できる」機会を増やし、親子向け企画や3×3、スケートボード等にも着目する。周知は広報・ホームページに加え、連携企業のSNS等も活用していく。評価は参加者数に加え、初参加者の割合、年代別の参加状況、他者への推奨度等で把握する。



要望 全体目標の達成には、若年層の底上げが鍵である。単発で終わらせない仕組みづくりと、実施回数・参加者数など「見える数値目標」の設定を求める。



ユニバーサルスポーツ

…年齢・性別・障害の有無、運動の得意不得意に関わらず、誰もが同じ場で参加し楽しめるよう工夫されたスポーツで、共生社会の実現にもつながる取り組み。

羽田線開業に向けて久喜駅前トイレの改善を

A 建て替え、又はリニューアルを検討

樋口 智洋 議員



久喜みらいの会

Q 2031年の羽田空港アクセス線開業により久喜駅の利便性が一層高まることを踏まえ、久喜駅西口・東口トイレについて、更新、洋式化、バリアフリー化などの改善を図る考えはあるか。

A 久喜駅東西口トイレはいずれも築約35年が経過している。今後は、オストメイト対応やユニバーサルシートの設置など、バリアフリーの観点も取り入れながら、より使いやすいよう、東西口トイレの建て替え又はフルリニューアルを検討していく。



久喜駅西口トイレ

Q 久喜駅始発の設定にあたっては、敷地が東武鉄道用地や道路に近接しているため拡張が難しいという課題は理解している。しかし、東武の車両基地を活用することで始発列車を設定できる可能

性も考えられるのではないかと。特急「日光」「きぬがわ」はJR車両が久喜駅を經由して東武線へ乗り入れており、さらに東武鉄道の車両基地も栗橋に位置している。こうした状況を踏まえると、大規模工事を行わずとも久喜駅始発の設定は可能と考えるが、市の見解を伺う。

A 東武鉄道の車両センターが近くにあることは認識しているが、久喜駅始発の設定には運行上の様々な条件を満たす必要がある。今後も、JRには「JR宇都宮線整備促進連絡協議会」を通じて、東武鉄道には「東武伊勢崎線輸送力増強促進協議会」を通じて情報共有を図りながら研究を進める。また、羽田空港アクセス線の開業を見据え、羽田空港への乗り入れを踏まえた運行計画や久喜駅始発列車の設定、さらにJR東北本線との相互直通運転化に関する検討についても要望している。構成市と連携し駅利便性向上を継続要望していく。

不登校児童生徒に寄り添った支援を

丹野 郁夫 議員



公明党久喜市議団

Q 不登校問題は全国的に増加・長期化傾向にあり社会的な課題。学校に戻すかどうかではなく、社会的自立や、社会といかにつながり続けられるかが重要と考えるが、現在の市教委の取組みは。

A 昨年度は不登校児童生徒数が減少に転じたが、長期化傾向はみられる。オンライン分教室、メタバースの活用、教育支援センター等の選択肢を示すと共に、不登校を未然に防ぐ取組みを強化する。

Q 市全体で不登校状況を把握し、対応すべき。

A 今年度、不登校児童生徒の欠席、相談、支援状況など、教育データを可視化するシステムを構築した。定例報告では対応が遅れる場合もあるため、当システムを活用して早期対応に努めたい。

Q 学校に行けなくても、オンライン授業に出席すれば欠席にならない制度の周知徹底を。

A 久喜市はコロナ禍にいち早くこの制度を導入した。担任の先生に至るまで周知に努めたい。

上内小・鷲宮小廃校後の避難所等としての利活用は

Q 市民の関心が高まっている。各校の今後は。

A 両校とも民間に売却の方針で検討。上内小跡地は、ご提案の避難所等の活用は考えていない。

Q 閉校時の住民やPTAの意向を尊重すべき。

A 契約時に地域と良好な関係構築を求めていく。

Q 鷲宮小廃校後の利活用は、地域の皆さんや高校生等を交えたワークショップの開催をすべき。

A 区長をはじめ地域のご意見を伺っていく。

わし宮団地に高齢者相談窓口の設置を

Q 高齢者が多く、徒歩圏内に気軽に相談できる公的機関や医療機関が少ない。定期窓口の設置を。

A 相談窓口が有益となるようURと協議する。



民間に売却予定の上内小跡地

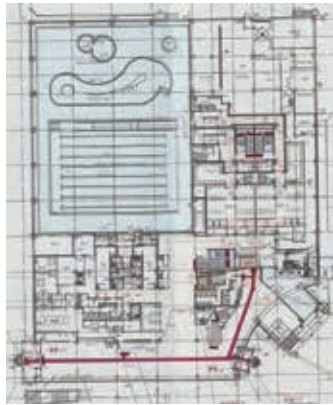
新ごみ処理施設、余熱利用施設 点字ブロックの設置を



猪股 和雄 議員

市民の政治を進める会

Q 新ごみ処理施設の環境学習や見学コース、余熱利用施設の市民が利用する通路などに、点字ブロックの設置を求めてきた。前定例会議までに、両方の施設の入口自動ドアからトイレとエレベーターまでの通路に誘導ブロックを設置し、階段の上下には警告ブロックだけを設置するという答弁がされた。警告ブロックだけを設置しても視覚障害者は移動できないから、誘導ブロックに接続すべきでないか。6月定例会議で福祉部長が、点字ブロックを一般の市民が歩く動線に設置すると答弁していたが、なぜ誘導ブロックを設置しないのか。余熱利用施設は、温浴施設とプールなどの入



余熱利用施設の1階平面図
赤い線が点字ブロック予定箇所

口までの経路に点字ブロックを設置すべきではないか。両施設とも点字ブロックは1階だけにしか設置する計画がないが、2階部分のトイレやエレベーター、通路などに設置するべきだがいかがか。

A 県の福祉のまちづくり条例の基準を満たすように設置し、基準を超える部分については視覚障害者の意見を聞いてから検討して判断する。

Q 一般の人が歩く動線に設置するということは、それらの通路への設置は大前提ではないのか。県の条例に書いてあるのは最低限の基準であって、障害者のバリアフリーを進めるために、久喜市として積極的に設置していく姿勢はないのか。

A 意見を聞いた上で検討して判断していく。

その他の質問 ◇リチウム充電電池の回収ボックス設置箇所を増やすべき◇災害時要援護者の登録推進◇小学校体育館へのエアコン設置の促進◇身寄りのない高齢者の死後手続き受託制度の創設◇ふれあいセンターの食堂の早期再開を

地域公共交通利便増進実施計画の 利便性向上に向けて

川辺 美信 議員

市民の政治を進める会



Q 実施計画のパブリックコメントの提出数は。
A 2件の意見が提出された。
Q 利用者やバス停のある施設等にも、積極的に意見を求めるべきでは。
A 改めて意見を募集する考えはない。
Q 拠点バス停の待合環境整備費の内容は。
A バスの位置情報を把握することが可能な、バスロケーションシステム*の導入を考えている。
Q 菖蒲地区のバスターミナルの活用で、小中学校スクールバスの連携とは何か。
A 多様な輸送資源の一つとして活用を検討する。
Q 新規路線（南栗橋駅～東鷲宮駅）の運行時間（7～9時・15～19時）は通勤・通学を対象としているのか。
A メインは通勤・通学というふう考えている。
Q 定期券や乗り継ぎ券の導入は考えていないか。
A 実証運行ということで、導入は考えていない。

Q 久喜駅西口まちづくり計画に、コミュニティバスと大和バス停の屋根は含まれているか。

A 含まれていない。

Q 待合環境整備であるバス停の屋根の設置はどこでやるのか。

A 駅前ロータリーについて何らか改善を図りたい。その時に、路線バス停の屋根の増設、位置の変更とか相談しながらやっていきたい。



市民の大切な移動手段
コミュニティバス

マイナ保険証の問題点について

Q 後期高齢者医療制度被保険者全員に、資格確認書の交付を求めるべきではないか。

A 85歳以上の被保険者全員に、資格確認書を送付することが国から通知された。



バスロケーションシステム

…GPS等でバスの現在地をリアルタイムに把握し、運行状況を案内する仕組み。スマホや停留所のモニターで「あと何分で来るか」が正確に分かり、待ち時間の不安を解消する。

福祉センター廃止後の激変緩和措置の検討は

A 慎重に検討を行い、調整を図っていく

新井 兼 議員

Q ①廃止予定の鷲宮福祉センター利用者からは、これまでの活動を近隣の公共施設で継続したいとの要望がある一方、制度面・運用面の違いにより、施設予約のハードルや利用料金の発生など、利用者にとって負担増となる懸念がある。施設廃止後の当面の間における激変緩和措置を検討できないか。②公共施設のアセットマネジメントは、部署ごとの縦割りにとらわれることなく、横断的な連携・協力のもとで、施設や機能の有効活用、資源の再配分を図り、推進することが重要ではないか。

A ①近隣施設の利用相談を伺い、他施設への活動場所の移行を円滑に進めるため、施設の所管課等と調整していく。②近隣既存施設がその代替施設となるよう、各施設



久喜みらいの会

所管課が中心となり関係課と連携し、可能な範囲で運用方法を見直し、活用の幅を広げることを検討している。

将来を見据えた介護人材の確保及び定着を

Q 介護人材不足が見込まれる中、現状を的確に把握したうえでの対策が必要。①介護事業所の人材不足等について、市独自の実態調査を実施しては。②潜在介護福祉士の掘り起こしに向け、県社協と連携し、復職支援セミナーや職場見学会を市内事業者と共催できないか。③介護人材の定着促進のため、介護福祉士試験や介護支援専門員実務研修受講試験の受験手数料等への補助検討は。

A ①今後、調査項目を設け、確認していきたい。②対象者への広報方法を検討していく。③先進自治体の補助内容、事業効果等を調査・研究する。

その他の質問 ◇COPD（慢性閉塞性肺疾患）対策を総合的に推進すべき



休日の部活動の地域移行の現状と今後

奈良 政宏 議員

Q 部活動の地域移行及び地域クラブ活動の進捗状況を伺う。

A 対象の130ある部活動の内76は、令和7年度末までに休日の活動を地域クラブに展開。複数校から生徒を受け入れる地域クラブや男女ともに活動する地域クラブが56となる予定。また、部活動にない種目の活動を行う地域クラブが4あることから、合計60の地域クラブが令和8年度から活動する予定。



Q 今後のスケジュールや久喜市の推進計画、目標について伺う。

A 「休日の部活動移行に係る基本方針」を「地域展開に係る基本方針」に改め、休日について

久喜みらいの会

は、令和9年度までに地域展開を完了することを目途に取組を進める。平日は今後も学校部活動として継続していくが、国や県の動向を注視しながら将来的な地域展開の可能性も検討する。

栗橋中央コミュニティセンターについて

Q 代替施設やプレハブ棟整備の検討状況、進捗状況を伺う。

A 利用者には栗橋地区内の既存施設へ活動場所の移動をお願いしたく、意向の確認をしている。また、移動候補先の施設所管課と会議室の貸し出し等について協議している。尚、プレハブについては、設置場所や規模を具体的に検討している段階。

Q プレハブ棟整備のスケジュールを伺う。

A 令和8年度に予算化してプレハブの整備を行っていきたい。また、使用期間については、新栗橋行政センターが整備されるまでを考えている。





各常任委員会 所管事務調査

総務常任委員会

2月26日「埼玉東部消防組合の高機能消防指令センターについて」

高機能消防指令センターは総事業費約27.4億円を投じ、鉄筋コンクリート造3階建ての新施設を整備し本年4月より本格運用が開始される。指令システムは、指令台を7台(最大14台)に増設。AI音声認識による通報内容の可視化や、Googleマップ連携によ



▲指令室を視察

る地点特定、映像通報システムによる現場状況の把握など、最新技術で迅速な対応を実現。無線システムは無線基地局の新設・出力増強による不感地帯の解消や、IP無線機の導入により、出動態勢も強化。通報受付から現場活動まで、より確実に迅速な消防・救急体制が構築されたことを確認した。

福祉健康常任委員会

2月27日「ふれあいセンター久喜について」

開所28年目を迎え老朽化が進む同施設は、令和7～8年度に大規模改修の設計を行い、工事は約16～17か月間、部分閉鎖による継続運営を想定しており、故障中のエアコン用の冷温水発生器



▲食堂の厨房を見学

は先行更新されることを確認。一般利用が低迷している館内食堂は、令和8年3月末での事業者撤退が決定したが、デイサービス等の食事提供は代替手段に目処が立っている。

床面の張り替えの必要性など老朽化の実態を共有した上で、大規模改修に併わせ、食堂設備の更新を含めた検討の可能性があると、委員会として認識した。



任期満了 広報委員会

4年間様々な 挑戦をしてきました!



みなさんに手に取って見ていただける「議会だより」を目指して、「ほぼ3分でわかるダイジェスト」ページや公式キャラクター「きくべー」を生み出すなどしてきました。最後に委員から一言ご挨拶!

大谷委員長 ▶▶▶ 渋々引き受けた委員長でしたが、やるからには何か面白いことをと思い、色々提案をさせて頂きました。キャラクター「きくべー」が気に入っています。

宮崎委員 ▶▶▶ 4年間、色使いやイラストの工夫を中心に携わりました。新人議員として、議会を学ぶ貴重な機会にもなりました!

樋口委員 ▶▶▶ 「読みやすく伝わる誌面」を追求した4年間でした。皆さんの声が励みになりました。ありがとうございました。

奈良委員 ▶▶▶ 見やすい。分かりやすい。をモットーに広報委員として議会だよりを4年間作成してきましたがいかがでしたか?

川辺副委員長 ▶▶▶ 広報委員として14年、議会の姿を市民に届ける紙面づくりに向き合ってきました。これからも読みやすく、ダイナミックな議会を感じられる広報をめざします。

杉野委員 ▶▶▶ お世話さまでした。久喜市議会手作り、熟議の広報。事務局のみなさんと楽しい時間と経験を共有できたことに感謝!

貴志委員 ▶▶▶ 主にスポーツコーナーを担当しました。取材にご協力頂いた皆様、本当にありがとうございました。

山田委員 ▶▶▶ 議員1年生からの4年間、大変お世話になりました。広報紙の作成は勉強になるとともに良い思い出になりました。

訃報 榎本英明議員 逝去



榎本英明議員(63歳、久喜みらいの会)におかれましては、令和8年3月25日にご逝去されました。

榎本氏は令和4年に久喜市議会議員に初当選され、建設上下水道常任委員会副委員長、久喜宮代衛生組協議員を歴任し、市政の発展に尽力されました。

ここに哀悼の意を表し、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



くき市議会だよりは、「久喜市音訳の会コスモスライブラリー」のご協力により、視覚障がいのある方等にデイジー版（音訳版CD）を発行しております。送付を希望される方は障がい者福祉課にご連絡ください。

表紙の題字は栗橋幼稚園の皆さんにご協力いただきました



久喜市立栗橋幼稚園では、子ども達が毎日楽しく過ごせるように、主体的な遊びに必要な環境づくりに取り組んでいます。園周辺の豊かな自然や友達との関わりの中で、子どもの興味や関心が無限に広がります。幼児期に遊びを通して学んだことは一生の宝物です。これからも子どもの個性が輝く教育をしていきたいと思ひます。

輝く！小中学生スポーツコーナー 驚宮剣道クラブ編

剣の道は果てしないのニャー！



50年の歴史が生み出す「自主性」

小学生から中学生まで約30名が所属する驚宮剣道クラブ。なんと50年を超える歴史を持ちます。印象的だったのは、稽古開始の時間になると、大人の声掛け無しに子どもたちが自主的に集まって、凛とした雰囲気稽古を開始していたこと。会長の若林さん（剣道教士八段）は「長い歴史の中で、自主性が育ってきた」と語ります。



同じ稽古から生まれる「楽しさ」

「稽古で出来なかったことは、先生の教えをノートに書き留めてイメージを繰り返す。出来るようにな

ると楽しい」と語るのは、埼玉県剣道大会で久喜代表の副将として3位に輝いた田沼さん（6年生）。同大会個人戦小学3年の部で優勝した為谷さんは大の負けず嫌い。負けてしまった時は「たくさん稽古をして、次は勝つ」と自分を奮い立たせるそうです。「1年を通じて、同じ稽古を積み重ねる。

目標を持って上達する楽しさを味わって欲しい」（若林さん）。驚宮剣道クラブの剣道着に踊るのは、宮本武蔵が「五輪書」に残した「万里一空」の文字。ひとつの目標に向かって努力することの大切さを説いた「万里一空」を体現する驚宮剣道クラブから目が離せません。



議事を傍聴しませんか

- | | |
|--------------|---------------------|
| 5月招集会議(予定) | 6月19・22・24・25日 一般質問 |
| 5月18日 本会議 | 29日 議案質疑・委員会 |
| 6月定例会議(予定) | 6月30日・7月1日・2日・3日 |
| 6月8日 本会議(初日) | 常任委員会 |
| 6月18日 代表質問 | 7月8日 委員会・本会議(最終日) |



議会だよりのキャラクター「ギ飼猫」のきくべーです



編集後記

新緑が目に見鮮やかな季節となりました。本号では、一般会計、特別会計、令和8年度予算等が提案され審議されました。市民の皆様にご協力いただき、ありがとうございました。広報委員会の編成も次期は替わりますが、これからもわかりやすさをモットーに議会の内容をお伝えしてまいります。(山田)

私たちが取材・編集しています(広報委員会)



◎委員長 ○副委員長

- | | | | | | | | | | |
|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 樋口 | 貴志 | 奈良 | 上條 | ◎大谷 | ○川辺 | 成田 | 杉野 | 宮崎 | 山田 |
| 智洋 | 信智 | 政宏 | 哲弘 | 和子 | 美信 | ルミ子 | 修 | 亜希 | 正義 |